

## I 健康寿命日本一に向けた取り組み① ～健康づくりの推進～

### 事業の実施状況

#### 1 地域保健と職域保健の連携推進

##### (1) 地域・職域健康づくり推進会議作業部会の開催

・臼津地域作業部会を立ち上げ年4回開催。「事業所ぐるみの健康づくりメニュー」を作成し、事業所への啓発等協働活動実施

##### (2) 健康経営講座の開催

・年8回開催 参加事業所数(中部:78ヶ所、由布:10ヶ所)

#### 2 健康づくりの環境整備

##### (1) 健康応援団(食の環境整備・受動喫煙対策)の拡大

・事業所・飲食店訪問等による啓発や健康経営事業所登録時に登録勧奨

##### (2) うま塩プロジェクトの推進 飲食店を訪問し登録勧奨

##### (3) 健康マイレージ事業と連動した健康づくり 市とともに事業所への啓発を実施

#### 3 各市健康づくり計画、データヘルス計画の推進支援

・臼津地域生活習慣病担当者会議(月1回)の開催や各市との連絡会等により、計画や重点事業の進捗状況の確認・助言を実施

#### 4 健康づくりにかかる住民主体の組織活動の促進支援

・市の戦略会議に参加(臼杵市:5回、津久見市:1回、由布市:5回)し、取組の進捗状況の把握及び助言を実施

○新規活動実施地区 : 臼杵市:6ヶ所、津久見市:2ヶ所、由布市:3ヶ所

|              | 実績    |
|--------------|-------|
| 健康経営登録事業所    | 80ヶ所  |
| 健康経営認定事業所    | 25ヶ所  |
| 健康経営講座参加事業所  | 88ヶ所  |
| 食の環境整備部門     | 30ヶ所  |
| 受動喫煙対策部門     | 30ヶ所  |
| うま塩メニュー提供登録店 | 4ヶ所   |
| 健康マイレージ活用事業所 | 10事業所 |

### 事業の成果等

・臼津地域では地域・職域健康づくり推進連絡会議作業部会を立ち上げ、各機関の事業の見える化や事業所のニーズに応じた新たな事業の開発等、関係機関と協働した取組を展開したことで、事業所の健康づくりを推進する体制が強化された。

・健康経営講座の開催や市と連携した啓発等により、健康経営登録事業所及び健康応援団登録事業所が増加し、事業所の健康づくりが推進された。

・市の糖尿病性腎症重症化予防地域医療連携体制づくりやモデル地区での取組促進等、データヘルス計画の推進につながった。

・健康づくりにかかる住民主体の組織活動について、市の戦略会議への参画や地区の活動支援を行い、組織活動の拡大につながった。

### 今後の方向性・改善計画等

・引き続き、事業所における健康づくりを推進するため、地域と職域の関係機関が協働した効果的な事業を実施する。

・平成28年度に実施した県民健康意識行動調査等により確認された地域の健康課題に応じた対策を推進する。

## I 健康寿命日本一に向けた取り組み② ～地域包括ケアシステムの構築を目指した在宅医療・介護の連携～

### 事業の実施状況

#### 1 各市の在宅医療・介護連携事業への支援

- ・臼杵市Z会議(全体会:1回、コア会議:15回、研修班:10回、リアル班:9回、啓発班:1回)、津久見市在宅医療介護連携事業(実務者会議:4回、コア会議:3回、推進会議:3回)に参画し事業推進を支援

#### 2 地域課題解決に向けた体制整備推進への支援

- ・地域ケア会議へ参画(臼杵市:月1～2回、津久見市:月1～2回)し、地域課題の抽出と検討について助言(臼杵市:地域課題検討の場の設置に向けた情報提供、津久見市:地域ケア会議終了後の地域課題を検討する場への参画)

#### 3 地域包括ケアシステムを支える関係者の人材育成

##### (1) 自立支援等に関する研修会の開催

- ・圏域サービス事業所実践力向上研修3日間(1コース)
- ・自立支援実践報告会を津久見市が事務局となって関係者で企画運営(今年度から)

##### (2) 関係機関の連携に関する研修会の開催

- ・看看連携の促進:「医療機関と在宅を結ぶ相互体験交流事業」及び「看護連携フォーラム」の実施(看護ネットワーク推進事業)
- ・在宅支援従事者の資質向上:「精神疾患の理解と対応研修」、「地域移行・定着支援実務者研修」の実施

#### 4 医療・介護連携の推進

- ・入退院時情報共有ルール:8～9月実態調査(病院、介護事業所)、運用・評価検討会議(2回)、合同会議(1回)

#### 5 地域医療構想の実現

- ・地域医療構想実現に向け、医療関係者が協議を行う中部圏域地域医療構想調整会議を開催(1回)

### 事業の成果等

- ・市が主体となって在宅医療介護連携事業を推進していくために、市の役割や医師会との連携方法等企画運営の段階から支援してきた。27年度までの取組を基盤とした連携事業が円滑に実施でき、市の事務局機能の強化も図ることができた。
- ・入退院時情報共有ルールの医療機関、事業所それぞれの運用実態が掴め、徐々に連携が進んでいる一方で、さらなる周知の必要性が明確となった。
- ・地域ケア会議からの地域課題の検討へと体制が整ってきた。
- ・精神疾患や難病への対応について関係者の更なる資質向上が課題として把握できた。
- ・中部圏域地域医療構想を実現するためには、医療関係者による主体的、自主的な取組が必要である。

### 今後の方向性・改善計画等

- ・地域課題の検討と課題解決のための体制整備を行う。
- ・関係者の人材育成を強化するとともに、相互の連携強化を図っていく。
- ・入退院時情報共有ルールの一層の運用促進など、切れ目のない医療、介護サービス提供体制の構築を支援する。

## I 健康寿命日本一に向けた取り組み② ～地域包括ケアシステム構築を目指した在宅医療・介護の連携～

### 事業の実施状況

#### 1 由布市における在宅医療連携推進を通じた、管内関係機関、職種の資質向上と連携強化

- (1) 由布市地域包括ケア推進協議会に参加し、班活動(広報班、研修班、IT・調査班)の推進を支援  
 研修班(会議:4回、研修開催:4回)、広報班(会議:5回、講演会開催:1回、ガイドブック改訂等)  
 IT・調査班(会議:5回、連携シートのIT化の検討)
- (2) 相互研修の実施 〈実施時期〉9～11月 〈参加施設〉18施設(8施設増加)
- (3) 入退院時情報共有ルールについては運用・評価会議(2回)の段階から市が参加
- (4) 認知症ケアパスの作成及び認知症初期支援チームの設置・活動への支援

#### 2 自立支援型ケアマネジメントの実現と「介護予防・日常生活支援総合事業」の推進

- (1) 生活支援に係る実施団体 49団体(35団体増加)
- (2) 介護予防圏域検討会議は年2回開催、由布市の地域ケア会議にも月1回参画

#### 3 地域医療構想の実現 地域医療構想の実現に向け、医療関係者による中部圏域地域医療構想調整会議を開催(1回)

### 事業の成果等

- ・由布市地域包括ケア推進協議会の班活動に参画し、地域住民への啓発、関係職種への研修内容の充実、連携シートのICT化を共に進めることができた。また、入退院時の情報共有ルールも在宅医療・介護連携事業の一端を担う取組として市と連携して推進できている。
- ・認知症対策は、由布市認知症施策推進会議に参画し支援することで、認知症関連事業の全体的な進捗管理と活動支援が可能になった。(ケアパス作成にあたっては、由布市認知症ケアパス検討委員会にオブザーバーとして参加し作成の支援を行った。初期集中チーム活動についても認知症初期集中支援チーム検討会の委員として活動を支援した。)
- ・由布市の介護予防事業については「介護予防体操普及戦略会議」と「旧町単位の地域ネットワーク会議」を通じて支援を行い、介護予防圏域検討会議で活動団体や生活支援の可視化について検討を行うことができた。

### 今後の方向性・改善計画等

- ・認知症対策については市の推進体制が明確になったことから課題の解決ができた。
- ・由布市地域包括ケア推進(在宅医療・介護連携)事業については、入退院時の情報共有ルールの強化を行うとともに、各班活動への参加を通じて30年度以降の体制整備に向け支援を行っていく。

## Ⅱ 健康危機管理の拠点としての機能の充実

### 事業の実施状況

#### 1 災害対応機能の整備・強化

- (1) ・大津波を想定した避難訓練の実施を通じ、避難ルートについて確認(中部:1回)
  - ・災害対応備蓄物品の整備・充実 → 支援用物品、医療用物品等の整備
  - ・広域災害救急医療情報システム(EMIS)訓練(1回)、人工透析実施医療機関等連絡会議の開催(1回)
- (2) ・避難訓練等を踏まえ、中部保健所災害時対応マニュアル、アクションカードの見直し(3月)
  - ・由布市保健事業連絡会(1回)、臼杵市保健事業連絡会(1回)にて災害時体制等を協議

#### 2 健康危機管理体制のさらなる充実

- (1) 「健康危機管理連絡会議」(中部:1回、由布:1回)
- (2) 「感染症患者等の移送に関する協定」の臼杵市、津久見市各消防本部との締結(1回)
  - ・エボラ出血熱患者等の移送訓練等の実施(1回)
  - ・健康危機管理対策物品の整備、充実 → アイソポッド配備(中部)

#### 3 感染症や食品による健康被害への対策

- (1) 消毒インストラクターフォローアップ研修(由布:1回、中部:1回)
- (2) あなたのまちの感染症情報(毎週)
- (3) iFAXによる緊急時の情報提供(2回)

### 事業の成果等

- ・避難訓練を通じ、実際の避難ルートの確認等ができるとともに、災害時に必要な物品の備蓄が進み、災害時の業務遂行体制の整備が図られた。
- ・患者移送に係る協定締結や移送訓練の実施など、健康危機管理事案に備えた体制の整備が図られた。
- ・研修会を通じ、社会福祉施設等に感染症対策は施設全体で取り組むことが重要であることについて認識されるとともに、消毒インストラクターの感染症に対する知識を深め、スキルアップを図ることができた。

### 今後の方向性・改善計画等

- ・大規模災害発生時の体制整備強化及び、地元市町村の災害体制整備の充実・向上と保健所とのさらなる連携を推進する。
- ・引き続き、健康危機管理事案の発生に備えた体制整備をさらに推進する。
- ・感染症情報の的確、効果的な提供と、社会福祉施設等に対する感染症対策・食中毒対策の一層の支援を図る。

## Ⅲ おおいたうつくし作戦の推進

### 事業の実施状況

#### 1 市民参加型の環境保全活動の推進

- (1) おおいたうつくし推進隊地域連絡会の開催: 2回
- (2) 環境教育アドバイザーの派遣: 11回
- (3) 水質調査、水生生物調査: 4回

#### 2 事業場排水対策の推進

- (1) 立入検査計画に基づく監視指導施設数: 中部(30事業場)、由布(50事業場)

#### 3 生活排水対策の推進

- (1) 浄化槽法定検査未受検者への指導: 450件(100%)
- (2) 不適正事案への指導: 106件
- (3) 浄化槽維持管理講習会の開催: 中部2回、由布6回

#### 4 水質保全に関する取組の支援

- (1) 流域会議の開催
  - ・豊かな水環境創出ゆふいん会議: 3回
  - ・豊かな水環境創出しようない会議設立準備会: 1回
- (2) 外来魚駆除活動: 1回
- (3) 外来藻駆除活動: 2回
- (4) 河川環境学習: 4回

### 事業の成果等

- ・地域連絡会で、おおいたうつくし推進隊と関係機関が活動状況や課題・問題点等について意見交換を行い、連携の強化が図れた。
- ・立入検査計画に基づく監視、法定検査未受検者への指導、合併浄化槽への転換啓発について、計画通りに実施できた。
- ・豊かな水環境事業のモデル地域として、湯布院の活動に必要な物品等の支援を行うことができた。

### 今後の方向性・改善計画等

- ・地域での環境保全活動をさらに拡げていくため、うつくし推進隊等の活動を引き続き支援する。
- ・水質保全のため、生活排水対策を継続して推進する。
- ・豊かな水環境創出しようない会議を設立し、モデル地域の活動を庄内へと広げることを推進する。